



インタビューに答えてくださった  
馬場みよ子さん

## ◎ 参加者の声

ご夫婦でガソリンスタンドを経営している馬場みよ子さん（京町自治会）は第1回目のボランティアに参加予定でしたが、雨で中止になったため第3回目に参加して活動しました。

そんな馬場さんにボランティアに参加した時のお話を伺いました。  
「ボランティアに行こうと考えたきっかけ」

「ニュースを見ていて隣の県で大変なことが起きていると思っていた矢先、5月の連休中に（水道の故障で）家の水が止まってしまふという事態になりました。ごほんやお風呂のたびに仕事場から水を汲んでくるなど不便をしました。一日でもこんなに大変なのに熊本はもっと大変なんだと思い、今回ボランティアを募集しているというところで、年齢に不安を感じていたけれど参加しました。」

「実際の作業内容は？」  
「家の周りのがれきとしてため

ていたものを土嚢袋に詰める作業を行いました。1回の作業で、200袋くらいの量を詰めました。」

「住人の方とは何かお話をしましたか？」

作業をしたお宅は半壊の診断で、床が浮いていたり、雨漏りがあるなど住むのは難しい状態というお話でした。

住人の方からは「とりあえずがれきが無くなったことでスッキリして気持ちがいい。トマトを庭先の菜園畑で栽培しており、毎年近所の子どもたちが収穫を楽しみにしていた。がれきが無くなったことで安心して子どもたちも庭に遊びに来れる。」

「ボランティアに行った感想」

「実際に被災地の様子を目の当たりにすることでさらに自分でも何かできないか考えるようになりました。また、今回のボランティアには周りの協力があつたから行くことができ、大変ありがたかったです。自分が行かなければ他の人も誘えないため、行くことができよかったです。次も機会があれば参加したいですね。」



参加者に支給する  
錦江町支援隊の帽子



部屋の中の片づけ作業

活動に参加された方や活動はできなかったけどもボランティアに行こうと申し込みされた方々に話を伺いました。すると、どの町民の方からも「少しでも役に立てれば」という言葉が聞かれました。

隣の県である熊本、つまりご近所どうし助け合いをするのは皆さんの中で当然のことかもしれないですが、実際にボランティアに行ってみると「支援金ももちろんありがたいけども、実際にこのように手伝ってもらえることが何よりうれしい」というような声を聞くことができました。「少しでも役に立てれば」の「少し」の行動が被災者の方の心を癒す力となったのではないのでしょうか。

## 7月もボランティア支援隊を継続します！

6月中は1回しか活動できなかったため、7月に3回の活動を追加します。6月同様熊本市でのボランティア活動です。

### 【日程】

- 7月19日（火）※締め切りは7月15日（金）
- 7月22日（金）※締め切りは7月20日（水）

（すでにボランティア保険に加入している方は前日までお申し込みもできます。）

【募集人数】 10名程度（1回につき）（各回先着順とさせていただきます。）

【参加費用】 650円（傷害保険及びボランティア天災保険）

### 【申し込み方法】

電話で社会福祉協議会までご確認のうえ、参加費用（650円）を添えて、社会福祉協議会事務所（本庁1階）までお申し込みください。

【お問い合わせ】 社会福祉協議会 Tel 0994-22-2000

### 【留意事項】

- 作業内容は熊本市ボランティアセンターに到着後決定します。
- 作業場所は暑いことが予想されますので、食事は傷まないようにクーラーバッグに入れるなど工夫してください。また飲み物も十分な量を準備してください。（2リットル前後）
- ゴミもお持ち帰りをお願いします。
- 汚れてもいい服装・着替え・タオル・軍手・雨具などをご準備ください。

### 【行程（予定）】

- 5:00 田代支所前出発
- 5:20 本庁前出発
- ➔ バスで乗り合わせて被災地へ向かいます。途中で朝食や昼食購入のための休憩があります。（2回程度）
- 9:00 熊本市到着
- 9:30 ボランティア開始
- 16:00 ボランティア終了
- 17:00 被災地出発
- 21:00 本庁前到着
- 21:20 田代支所前到着

※雨天時は作業中止になる場合もあります。派遣中止の場合は、前日に参加者に電話で連絡します。